

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 大

上場会社名 岡本硝子株式会社

コード番号 7746 URL <http://www.ogc-jp.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートサービス本部長 (氏名) 阿部 裕

TEL 04-7137-3111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
25年3月期第3四半期	4,124	△2.7	△72	—	△71	—	△85	—
24年3月期第3四半期	4,239	△14.5	176	△77.0	165	△74.7	497	△17.6

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 △66百万円 (—％) 24年3月期第3四半期 197百万円 (△69.8％)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△5.35	—
24年3月期第3四半期	31.22	31.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
25年3月期第3四半期	7,563	1,279	16.0
24年3月期	6,901	1,343	18.5

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 1,206百万円 24年3月期 1,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,217	△6.8	△361	—	△346	—	△378	—	△23.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名)
、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	15,950,540 株	24年3月期	15,950,540 株
25年3月期3Q	483 株	24年3月期	416 株
25年3月期3Q	15,950,111 株	24年3月期3Q	15,943,878 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、世界景気の減速の影響等により景気は足踏みを見せております。先行きについては、輸出環境の改善はあるものの、欧州や中国等の対外経済環境の不確実性は高く、世界景気のさらなる下振れや金融資本市場の変動が、わが国経済の景気を下押しするリスクがあります。アメリカ経済は、景気が緩やかに回復していますが、財政問題への対応や雇用情勢の推移によっては、景気が下振れするリスクがあります。ヨーロッパ経済は、景気が弱含みとなっており、一部の国々の財政の先行きに対する根強い不安が金融面に影響することにより景気低迷の恐れがあります。中国経済は、景気の拡大テンポはやや持ち直していますが、輸出や不動産価格の動向などに注意が必要な状況であります。

その中で、データプロジェクターは、新興国を中心として教育用途での普及、拡大が進んでおります。このため、当社グループのプロジェクター用反射鏡の販売も、数量ベースで増加を続けておりましたが、中国などでデータプロジェクターの需要増が鈍化したことから、セットメーカーで在庫調整の動きがあり、平成24年11月から販売数量が落ち込みました。

フライアイレンズは、前期に専用炉が完成し生産能力が増加したため、今期は、積極的な営業方針をとることで受注を増加できましたが、平均販売価格は下落しました。現在の価格水準でも利益を確保するためのコスト削減努力を続けております。

デジタルシネマ上映システムは、先進国での導入がピークを過ぎ、今後は、新興国での需要が中心になっていくと思われれます。こうした状況の下で、当社グループのデジタルシネマ用映写機の反射鏡の製造と販売は大きく減少いたしました。

当社グループは、コストダウンを目的として、新潟岡本硝子株式会社で耐熱ガラス製品の反射鏡の完全一貫生産を計画しておりますが、結晶化ガラス製品につきましては今般炉修を終えた本社工場のガラス溶融炉にて成型し、新潟岡本硝子株式会社にて研磨以降の加工を行う予定であります。また、平成24年12月には、このために必要な新潟岡本硝子株式会社の工場増設が完了いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高4,124百万円(前第3四半期連結累計期間比2.7%減)、経常損失71百万円(前第3四半期連結累計期間の経常利益は165百万円)、四半期純損失85百万円(前第3四半期連結累計期間の四半期純利益は497百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①照明事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は636百万円と前年同期と比べ36百万円(6.0%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は58百万円と前年と比べ19百万円(49.0%)の増益となりました。

LED照明向け製品の販売が好調でした。自動車用ヘッドレンズ・フォグレンズは、ガラス製品への需要の漸減傾向が続いており、販売数量が前年同期比で20.8%減少し、売上高は11.5%減少しました。

②光学事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は2,802百万円と前年同期と比べ125百万円(4.3%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は316百万円と前年と比べ229百万円(42.0%)の減益となりました。プロジェクター用反射鏡は、販売数量が前年同期比で2.6%減少し、売上高は10.5%減少しました。フライアイレンズにつきましては、前年同期は震災によりガラス溶融炉1基が破損したことで生産が減少しましたが、当四半期は再建したガラス溶融炉の稼動により、販売数量が前年同期比で90.5%増加し、売上高は

60.4%増加しました。デジタルシネマ用映写機の反射鏡の販売は、先進国でデジタルシネマ上映システムの導入がピークを過ぎたことにより減少いたしました。

③機能性ガラス・薄膜事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は62百万円と前年同期と比べ20百万円(24.9%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)140百万円と前年と比べ23百万円の減益となりました(前第3四半期連結累計期間のセグメント損失は116百万円)。太陽光発電関連のガラス製品等の販売が減少しました。

④その他

当第3四半期連結累計期間の売上高は623百万円と前年同期と比べ5百万円(0.9%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は65百万円と前年と比べ56百万円の減益となりました(前第3四半期連結累計期間のセグメント損失は8百万円)。紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工の受注が減少しましたが、紫外線波長域の反射鏡の販売は増加しました。市場開拓中であるフリット(ガラス粉末)は製造固定費の増加を売上増で吸収できず、営業損失は増加しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて661百万円増加し、7,563百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ214百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が117百万円増加し、商品及び製品が103百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ446百万円の増加となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ661百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ522百万円の増加となりました。この主な要因は、短期借入金156百万円増加、未払金が164百万円増加及び流動負債その他が66百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ203百万円の増加となりました。この主な要因は、リース債務が173百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は725百万円の増加となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ63百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が85百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月9日に公表しました平成25年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「当期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ19,277千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	612,531	730,067
受取手形及び売掛金	934,837	897,700
商品及び製品	421,054	524,476
仕掛品	288,331	268,982
原材料及び貯蔵品	66,332	63,047
その他	182,626	236,418
貸倒引当金	△4,784	△5,020
流動資産合計	2,500,930	2,715,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,509,504	1,621,978
機械装置及び運搬具(純額)	1,290,942	1,397,830
土地	708,614	708,614
リース資産(純額)	114,878	303,593
その他(純額)	573,186	573,810
有形固定資産合計	4,197,125	4,605,828
無形固定資産	6,992	10,683
投資その他の資産		
投資有価証券	95,472	108,277
その他	101,225	122,786
貸倒引当金	—	△4
投資その他の資産合計	196,697	231,060
固定資産合計	4,400,815	4,847,571
資産合計	6,901,746	7,563,242
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	404,474	459,096
短期借入金	120,000	276,000
1年内返済予定の長期借入金	400,447	468,142
リース債務	46,354	95,233
未払法人税等	4,991	12,608
賞与引当金	44,116	—
未払金	269,009	433,699
その他	135,763	202,494
流動負債合計	1,425,158	1,947,275
固定負債		
長期借入金	3,718,364	3,717,270
リース債務	148,295	322,164

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
退職給付引当金	228,122	230,674
資産除去債務	28,790	35,587
繰延税金負債	9,260	13,143
長期未払金	—	17,214
固定負債合計	4,132,834	4,336,053
負債合計	5,557,992	6,283,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,762,390	1,762,390
資本剰余金	1,361	1,361
利益剰余金	△476,307	△561,592
自己株式	△369	△380
株主資本合計	1,287,075	1,201,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,785	3,984
為替換算調整勘定	△9,994	1,060
その他の包括利益累計額合計	△11,779	5,045
新株予約権	25,096	27,909
少数株主持分	43,360	45,179
純資産合計	1,343,753	1,279,913
負債純資産合計	6,901,746	7,563,242

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,239,834	4,124,393
売上原価	3,283,158	3,444,169
売上総利益	956,676	680,223
販売費及び一般管理費		
役員報酬	55,759	55,254
給料及び手当	186,739	184,701
賞与	18,090	4,998
退職給付費用	6,285	7,194
減価償却費	27,225	23,940
賞与引当金繰入額	3,756	—
旅費及び交通費	30,242	30,524
支払手数料	66,246	65,793
運賃	53,001	59,657
研究開発費	106,402	104,236
その他	226,144	216,246
販売費及び一般管理費合計	779,894	752,547
営業利益又は営業損失(△)	176,782	△72,324
営業外収益		
受取利息	252	724
受取配当金	5,216	4,278
為替差益	—	12,311
負ののれん償却額	12,959	—
助成金収入	45,368	48,511
受取事務手数料	2,585	7,717
その他	11,586	11,586
営業外収益合計	77,968	85,129
営業外費用		
支払利息	69,489	59,030
為替差損	13,958	—
シンジケートローン手数料	—	18,984
その他	5,812	6,396
営業外費用合計	89,260	84,412
経常利益又は経常損失(△)	165,490	△71,607
特別利益		
新株予約権戻入益	4,393	1,329
ゴルフ会員権償還益	—	8,550
固定資産売却益	148,702	339
関係会社株式売却益	264,466	—
その他	13	—
特別利益合計	417,576	10,218

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
特別損失		
固定資産除却損	2,330	11,871
減損損失	78,630	—
投資有価証券評価損	48	—
特別損失合計	81,009	11,871
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純 損失 (△)	502,057	△73,260
法人税、住民税及び事業税	6,091	11,973
法人税等調整額	△176	1,565
法人税等合計	5,914	13,538
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調 整前四半期純損失 (△)	496,143	△86,799
少数株主損失 (△)	△1,727	△1,513
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	497,870	△85,285

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	496,143	△86,799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,016	5,770
為替換算調整勘定	△283,373	14,387
その他の包括利益合計	△298,390	20,157
四半期包括利益	197,752	△66,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203,645	△68,460
少数株主に係る四半期包括利益	△5,893	1,818

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	照明事業	光学事業	機能性ガラス・ 薄膜事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	600,409	2,927,481	83,265	3,611,155	628,678	4,239,834
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	600,409	2,927,481	83,265	3,611,155	628,678	4,239,834
セグメント利益又は損失(△)	39,561	545,759	△116,477	468,843	△8,660	460,182

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	468,843
「その他」の区分の利益	△8,660
全社費用(注)	△283,400
四半期連結損益計算書の営業利益	176,782

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「機能性ガラス・薄膜事業」において、ガラス偏光子についてはプロジェクター用以外の製品開発が遅れており、又、太陽光発電用ガラス部品については事業の立上がりの遅れにより、経常的に営業損失を計上しております。このため、「機能性ガラス・薄膜事業」に係る資産の帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「機能性ガラス・薄膜事業」セグメントで78,630千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	照明事業	光学事業	機能性ガラス・ 薄膜事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	636,421	2,802,277	62,519	3,501,217	623,175	4,124,393
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	636,421	2,802,277	62,519	3,501,217	623,175	4,124,393
セグメント利益又は損失(△)	58,931	316,510	△140,368	235,073	△65,523	169,549

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	235,073
「その他」の区分の利益	△65,523
全社費用(注)	△241,873
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△72,324

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「照明事業」のセグメント利益が37千円増加し、「光学事業」のセグメント利益が13,573千円増加し、「機能性ガラス・薄膜事業」のセグメント損失が616千円減少し、「その他」のセグメント損失が4,988千円減少しております。また、各報告セグメントに配分していない全社費用が62千円減少しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。